＊キャンセル待ちばかりなのはなぜですか？

「予約受付時間開始からすぐに申し込みしたのに、もうキャンセル待ちだった」
というお叱りを受けることがあります。そのようなご批判をいただくのはごく一部ですが、
多くの方に「いつ予約が取れるのか…」という不安を抱かせてしまっていることは、大変心苦しく思っております。

病気のお子様を安全にお預かりするためには、ひとりひとりの疾患名（隔離が必要か否か？）や重症度・年齢・基礎疾患の有無・発達状況・配置できる職員数等を踏まえた上で何名まで受け入れられるのか、部屋割りを調整し判断する必要があります。０歳から小学６年生まで受け入れる施設であること、病気時のお子さんは想定以上の急変や不穏状態になり得ることを考慮しなければなりません。
そのために予約受付は、【申込受付＝キャンセル待ち】という位置づけにさせていただいているのです。ある程度申込数が出揃ったところで、上記の判断基準を元に精査して、利用確定のご案内となります。受付順に予約確定をしてしまうと、あっという間に予約枠は埋まってしまいますし、安全を考慮した調整ができないので、結果的にお引き受けできる人数枠が少なくなってしまうからです。
　さらに**「念のため予約」**が多いのも悩ましさのひとつであります。ご利用者さまの中には、まずは予約を押さえてから仕事の調整や祖父母の手配をするという行動パターンが少なくありません。また、朝まで様子見て熱が下がればキャンセルし登園・登校させるつもりだ、というお考えもよくあります。お忙しいのですから当然だと思いますが、そのような**「念のため予約」**で、貴重な予約枠が当日朝まで埋まってしまっているのです。

＊＊＊